

東京女子大学「女性研究者研究活動支援事業 女性研究者支援の継続に向けて」

【現状と研究活動支援の概要】

H24年8月に「女性研究者研究活動支援事業」選定され、女性研究者の研究活動を支援するとともに女性研究者の在籍比率、上位職在職比率の向上に努めてきた。H26年度は以下の女性研究者研究活動支援事業を推進するとともに、本年度を以て補助事業期間が終了することから、外部評価を含め、事業の成果と課題を点検し、H27年度以降どのように大学の恒常的事業としていくかを検討している。

【H26年度の活動状況】

1. 研究支援員制度の整備

- ・活用状況：2014年度：前期8名（育児5、介護3）、後期7名（育児4、介護2）
- ・研究支援員によるデータ入力、文献検索等により、ライフイベント期の研究が促進され論文執筆、学会発表の実績へとつながっている。

2. 意識啓発のための活動

- ・男女共同参画セミナーを開催（H25.11.4）浅川智恵子氏 日本IBM(株)IBMフェロー
- ・文理融合シンポジウムを開催（H26.3.19、5.19）
- ・女性研究者支援の継続に向けて「女性研究者研究活動支援事業」成果報告会を開催予定（H26.11.3）
- ・IEEEとの共催で「女性が拓く未来のテクノロジー2014」を開催（H26.7.5）
- ・4女子大学共催で「女子中高生のためのサイエンスフェスティバル」を開催（H26.8.31）
- ・活躍する女性研究者をロールモデルとして紹介。インタビューを大学院生が実施することにより先輩女性を身近に感じかつ、質問、構成、表現力の向上に効果を発揮している。

3. 広報（研究者にとって有用な情報発信）

- ・ホームページ、Facebookの活用：支援員制度、活動報告、インタビュー、教員採用情報、各種セミナー開催、研究助成金情報、ニュースレター（Vol4,5,6）等の情報を発信。
- ・メールマガジンの発行：登録者が62名から124名に増加。発行数はH26.10現在で12回。
- ・ロールモデル集の作成中：学内・外、大学院進学希望者、関係各所へ配布予定。
- ・大学広報誌への記事を執筆・掲載。

4. 学内制度及びニーズに関する調査・分析

- ・1993年3月～2012年9月他大学大学院進学者へのアンケート調査実施 323名対象、回答者数79名（回収率 24%）。分析を実施し、報告書を準備中。
- ・託児制度の整備について調査し、講演会等開催時に託児を実施する体制を整えた。

5. 研究者の交流促進

- ・研究者交流会9回開催（H25.7.19/10.24/11.18/11.22/12/11/H26.1.30/3/13/6.10/6.16/7.31）
H26.10.24で通算15回の開催となる。情報交換、対話ができる場として効果をあげている。
- ・女性研究者支援室オープンデーの開催（H26.4.14～16）
- ・スキルアップ講座の開催（H26.8.20）

6. 相談体制：学内外の教育研究職に関する相談、大学院生の進路に関するキャリア相談等を実施。

7. 女性研究者支援の継続にむけて：本事業の自己点検・評価を行い、外部評価を実施。

【連絡先】 東京女子大学 女性研究者支援室 代表 国広 陽子 担当 江頭 説子
TEL: 03-5382-6173 FAX: 03-5382-6173 E-mail: sowr@lab.twcu.ac.jp
URL: <http://www.sowr.jp/>

